

World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.20

Edition February 2nd, 2016

プレミアリーグ・パリ大会

日本人選手の活躍に感動

1月22日(金)からパリで開催されたプレミアリーグ・パリ大会を訪問しました。2016年に10大会予定されているプレミアリーグの第1戦であり、900名以上の選手が出場した盛大な行事となりました。規模の大きさと観客を飽きさせない演出は、WKF副会長兼スポーツコミッショナーでありフランス空手道連盟会長であるフランシス・ディディエ氏の力によるものです。彼は競技大会運営にセンスを発揮する一方、日本の武士道を愛し、映画「ラスト・サムライ」の話題になると1時間は語り続ける男です。

さて、観戦の感想を申し上げると「WKFという 立場を忘れ、日本人であることを誇らしく思った」 というのが正直なところです。

男子形決勝の喜友名諒vs新馬場一世戦、女子形決勝の清水希容vs岩本衣美里戦は素晴らしい緊張感に包まれ、全力を集中した演武と、高い技術力に注目が集まりました。

また男子組手84kg級優勝、荒賀龍太郎君は他選手を寄せ付けない完全勝利を果たし、強豪が集まることで知られるプレミアリーグ・パリ大会で日本人による質の高い試合に感動しました。

東京オリンピックを見据えての会議

さて、大会に先立ってWKFの担当委員会である東京2020準備委員会、形ルール委員会、組 手ルール委員会が会議を開き、各国から委員が 集合しました。





私はエスピノス会長と共に出席しましたが、各委員会における今年の方針、とくに東京オリンピックを見据えた競技ルール改正案や、それに伴って本年中にいくつかの行事でテストを実施することなどが多岐にわたって議論されました。

これらの案件は、委員会内での日頃の意見交換と、年に複数回開かれる会議で議論を尽くし、 最終的にはWKF理事会の承認を経て決定します。オリンピックに向けて、本格的にWKF担当者の実務的活動が始まりました。

世界空手連盟 事務総長

奈義総久

出張スケジュール 3月24日(木)~26日(土)北海道 全国高校空手道選抜大会

世界空手連盟 事務総長事務所

〒135-8538 東京都江東区辰巳1-1-20 日本空手道会館 電話 03-3522-6673 FAX 03-3522-6675 kobinata@wkf-gs.jp